

乙姫城

妻木城址の会

〒509-5301

土岐市妻木町3051-1

八幡神社社務所内

TEL0572-57-6441

本年度の学術調査始まる

四年目を迎えた妻木城跡の学術調査が七月下旬より始まりました。本年度で基礎的な調査は終了し調査報告書がまとめられます。

本年度の調査地域は次の通りです。

- 1、西の端に位置する馬場跡伝えられる曲輪及び、大手口と伝えられる部分
- 2、東の端にあたる堀切と土塁
- 3、Ⅲの曲輪の未調査部分
- 4、Ⅱの曲輪の虎口付近及び礎石の確認

特にⅡの曲輪では、昨年の調査で虎口より門の礎石や石積みを確認され、曲輪のほぼ全面にわたって建物跡の礎石が確認されました。本年度の調査で建物規模などが明らかになることが期待されます。調査は十月ぐらいいまで続けられ、調査終了後発掘説明会が計画されています。



Ⅱの曲輪虎口付近の発掘状況、東側で門跡の礎石が二個確認されました。礎石の外側には石積みが見られます。

また隣の石町では、道路工事にもなつて石西山窯の発掘調査が行われます。西山窯は十五世紀（一四〇〇年代・室町時代）の窯跡です。この時代の窯跡は数が少なく、ほとんどが妻木城主土岐明智氏の領内に限られています。土岐明智氏と美濃焼の関係を探る興味深い発掘になるものとその成果が期待されます。

発掘に関する
お問い合わせは
事務局へどうぞ。

「杜のかがり火コンサート」開催される

去る五月二十日に第二回杜のかがり火コンサート（妻木城址の会・豊かな東濃築こう会共催）が開催されました。あいにくの空模様で会場を妻木小学校体育館に移しての開催となりました。会場周辺にはかがり火とろうそくの火が灯されて、雰囲気盛り上げました。

昨年に引き続き山名敏晴さんを迎え、地元出身のミュージシャンの出演もあり、体育館は六五〇人の観客で埋まりました。



悪天候で野外での開催が出来なかったこと事は残念でしたが山名さんの甘いサウンドに酔いしれた一夜でした。

この秋は関ヶ原四〇〇年祭

東西両軍が激突した関ヶ原の戦いから今年で四〇〇年を迎えます。妻木城主妻木雅楽頭家頼も東軍徳川方として、妻木周辺地域で西軍岩村城主田丸氏と交戦しました。この戦いで岩村城主田丸氏を破り、先祖伝来の所領を安堵され、七五〇〇石の旗本として

四百年の節目の年を迎え、妻木一族及び家臣団など当時の人々の偉業と苦勞を偲び、当会でも次のような記念事業を予定しております。

妻木の文化財展（十一月四・五日日）

第二回妻木さんサミット（十一月四・五日日）

出版事業

妻木城跡の美化整備

詳細につきましては次号にてお知らせします。



土岐市妻木小で「杜のかがり火コンサート」

人・街 写真館

地域特集

幻想的な雰囲気、観客魅了

訪れた約600人を魅了した「杜のかがり火コンサート」

市民主体の「杜（もり）のかがり火コンサート」がこのほど、土岐市妻木町の妻木小中学校体育館で開かれた。今年は雨が降りそうな天気だったがため、屋内でのコンサートになったが「野外と変わらぬ雰囲気」と願う実行委員ら五十人の苦心と工夫の跡がうかがわれた。

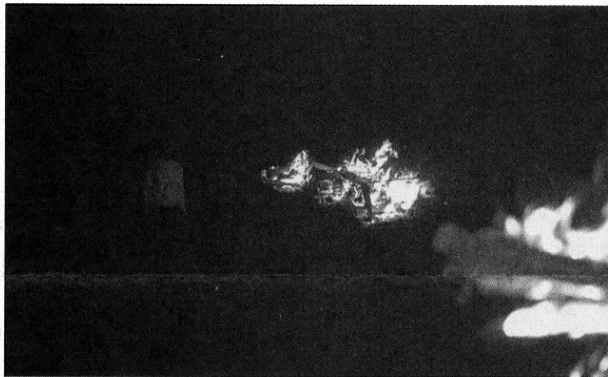
ロックと電飾で野外を演出

同コンサートは、戦国時代で知られる八幡神社の境内から、体育館での開催を代る江戸時代にかけて同内容をテーマにした大勢の観客を魅了した。町にあった妻木城の歴史などを研究している「妻木城 実行委員会」が心配したのに対し、郷土の文化つは、当日の天気、はじめは、ロックを立てて観客を迎え入れたいが、ステージに

くりを支障する「豊かな東 神社、体育館両方にステージを築く」という案、昨年九月、午後に入って「上演 委員会」が主体。野外と変わらぬ雰囲気を演出し、市指定無形文化 中に雨が降って、観客や出演者、シンガーの山名敏晴さんをはじめ、財の流鏑馬（やぶさめ）神 演者がぬれては……との意 出た。コンサートはフォーク



異国情緒あふれるソウルを披露した多治見市出身のソウルボーカリスト、安藤冨さん



上演中もかがり火を絶やさぬように薪をくべる実行委員会のメンバー、いずれも土岐市妻木町、妻木小

岐阜新聞五月二十四日朝刊より転載 原版はカラー

研究レポート 妻木一族（一）

西條藩士妻木恰（あたか）

事務局 水野幸爾

元成、只衛門、幼名彦六。天保八年（一八三七）八月七日生まれ

明治三年（一八七〇）七月二十三日自宅において病没するまで、三十四年の短い生涯を、幕末動乱期、西條藩（現在の愛媛県西条市）の藩論を尊皇（勤皇）へ統一に導くために中心的な役割を果たした。

西條藩は、御三家紀州家の分家（支藩）であり、親藩として佐幕派が多数であった。そんな藩情にあって、恰は、きわめて先鋭的な勤皇家であつたらしく、一時脱藩し、京都において多くの志士と交わるとともに、倒幕派公家達の知遇を得た。死亡の年齢から考えて十年と少しの勤役中、二十数回にわたる御役御免、逼塞等の懲罰と、二十三回もの復役、昇進、褒賞があつたとされ、恰の直情を示すとともに、藩論の揺れの多さを示している。

恰の最大の功績とされる藩主の国入り実現の様子を「伊予史談」（昭和十二年刊行）に見ると、

「（前略）茲に於て恰等の同志は、是非ともこれを具体化せんとし、『天下の事なすべき也』と、決然立って江

戸に赴き、上書して重役に迫り、熱烈火を吐いて之を痛論し、若し成らずんば刺違へて死するの覚悟を以つてこれに當つた。この至誠天に通じたものか、願望遂げられ、藩侯には帰国と決定され、恰等同志は藩侯に従つて江戸を発した。（攻略）」

とある。唯、この時期は慶応四年（一八六八）七月のこととされている。しかし、明治改元が二ヶ月後にせまり、すでに江戸城には倒幕軍が入城しており、將軍慶喜が駿府に謹慎した同じ七月、「伊予史談」に描かれるような西條藩の状況は解せないものがある。藩主帰国の時期はともかく、藩論が倒幕方に傾く時期はもう少し前に持つていかなければならないかも知れない。それでも恰の存在は倒幕方であつた同じ伊予の大洲藩の記録「軍艦簿」に

「西條藩兎角、勤皇の志無之、然る処、妻木唯右衛門と申仁、余程周旋の上、此節漸精義に傾き伝々」（伊予史談）

とあり、その活躍は知られていた。

西條藩にとつて、救国のヒーローであつたはずの恰が、明治に入って特別の出世を果たした様子はどうかがえない。死の年明治三年になつても、相変わらずの賞罰が記録され、その激しい直情がうかがえる。



妻木恰(元成・写真左)と家来
日東信之氏所蔵

恰の家系を「伊予史談」にみると、旗本妻木城主三代妻木頼次の弟とされ、さらに「妻木只右衛門元敬、少壮の頃、志を立て郷国を去って、紀州大納言に仕へ、(中略)頼宣三男、松平頼純分家し、伊予西条に封ぜられた時、付人として移住した。」

この記述には種々の疑問点があり、今後の調査をまちたい。

田宮流居合剣法第十四代宗家で、当会名誉顧問の妻木正麟元信氏は恰の孫にあたる。

研究レポート

事務局 黒田正直

旗本妻木氏参勤交代の記録

慶長五年(一六〇〇)の関ヶ原の戦いに東軍徳川方に味方した妻木城主妻木家頼(寛政家譜では頼忠)は、戦後七五〇〇石の旗本になります。妻木氏は江戸城登城の際控室として「帝鑑の間」の格式が与えられました。控室は官位・身分・家柄・役職などによって決められていました。「帝鑑の間」は譜代の城持ち大名の控室です。で妻木氏の家格の高さが察せられます。

また交代寄合格として参勤交代をする旗本です。特に美濃国には旗本の参勤交代の家が他にもありました。

では実際に史料よりその事例を見てみましょう。

元和七年(一六二一)

同九月十九日御休

一妻木玄番様 銀貳拾匁

慶安元年(一六四八)

四月廿四日御登二而御休

一妻木権左衛門様 御家老

中垣彦兵衛殿

代老貫文

同 甚左衛門殿

慶安二年（一六四九）

三月十八日御下御泊り 御家老

一妻木権左衛門様 齋藤久兵衛殿 金子壱分

この史料は本陣日記（遠州浜松杉浦文書・東大史料編纂所）より拾いました。妻木玄蕃は妻木家頼（旗本妻木城主初代）、妻木権左衛門は家頼の子頼利です。妻木玄蕃の場合は、江戸か本国かどちらへ向かっているのか定かではありません。しかし権左衛門は慶安元年四月に江戸へ向かい、翌年三月には妻木へ帰ったことがわかります。

本年度の活動について

本年は関ヶ原合戦より四百年にあたるとともに、西暦二〇〇〇年、そして来年は二一世紀へと節目の年にあたります。当会でも本年度より来年度にかけて記念行事を予定しています。

一、城跡周辺の環境整備

妻木城跡は貴重な史跡ですので現状に影響ない範囲で見学者の便をはかります。

案内標識・説明板の設置、登山道の整備、下刈りなど

二、道路案内の調査と設置

現在、幹線道路から妻木町までの道路案内の設置状況を調査しています。地図を見なくても妻木町へ、または城跡や崇禅寺などへたどり着けるように、関係機関への陳情や会での製作などすすめます。

三、妻木さんサミット及び妻木の文化財展の開催

本年の文化財展は、第二回妻木さんサミットと同時開催となります。詳細につきましては後日ご案内いたします。

四、妻木一族の研究、古文書調査など継続しておこなっています。今秋より順次出版いたします。

編集後記

会報の発行が大変遅れて申しわけありません。事務局のメンバーは多忙な仕事の合間に会務をこなしています。言い訳がましくなりましたがご理解をいただきたくお願い申し上げます。

今号からページを増やす方向で努力してまいります。最近の動向や新資料の紹介など内容の充実を図ります。

会員諸士の投稿を歓迎いたします。ぜひ原稿をお送り下さい。